

14 福島民友新聞株式会社

「働く女性応援」
中小企業認証

「仕事と生活の調和」
推進企業認証

★★★★★

★★★★★



「県民の友でありたい」
福島の今を伝え明日を見つめる福島民友

情報通信業

先輩インタビュー Interview

主にデジタル技術を使用した仕事をしています。例えば会社を働きやすく(DX化)する申請書等のペーパーレス化、社有スマートフォンの導入などですね。紙面に掲載される写真加工、地図やグラフなどのグラフィック作成も業務の一つです。

今後は、会社全体をより良くするために、デジタル関連の知識をどんどん身につけて、自分自身を成長させようと思います。

制作局システム制作部
にしざわ かずは
西澤 一波 さん(勤続2年目)

デジタル技術で、
会社全体を良くしたい

私の

職場じまん 震災を経験した際、新聞は大切な情報源で、自分にはそれが民友新聞でした。

マスコミ志望で、いろいろ回ったメディアの中で一番明るく雰囲気の良かった民友に入社を決意しました。今は主に広告記事の企画・制作をしており、企画の立案、取材、原稿の執筆、紙面の制作まで一連の作業を行っています。自分が書いた記事や制作した紙面を通じ、取材した方や読者に喜んでもらえることがやりがいです。

営業局企画推進部
えんどう まな
遠藤 真菜 さん(勤続4年目)

紙面を通じ、
読者に喜んでもらえることがやりがい

私の

職場じまん 明るく柔らかな会社の雰囲気に惹かれて入社。毎日楽しく働いています。

どんな仕事なの?

震災からの復興を見つめ
ふくしまの発展を支える

明治28年から続く日刊新聞の発行を柱に、「みずウオーク」などのイベントの開催、「みんゆう県民大賞」などの顕彰事業も実施しています。紙面では、東日本大震災からの復興と発展を取材、報道しています。

- 日刊新聞の発行
- 各種イベントの開催
- 福島民友愛の事業団による社会貢献活動
- 「みんゆうネット」によるメディア事業
- シニアが対象の「民友ゆうゆう倶楽部」
- 書籍の出版

代表者メッセージ Message

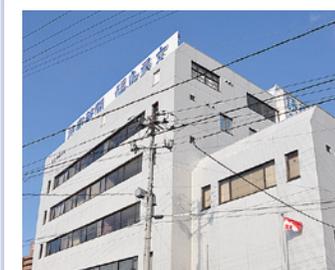
私たちは、地域とともに歩む
新聞社です

企業理念「新たな挑戦をしよう」「働く幸せを実感できる企業風土を創出しよう」「県民に愛される新聞をつくろう」の3つの目標を掲げています。新聞づくりでは、読みやすい、面白い、役に立つの3つを心掛けています。安心感に包まれて仕事ができる職場です。



代表取締役社長
なかがわ としや
中川 俊哉さん

COMPANY Data



福島民友新聞株式会社／福島民友新聞社
〒960-8648 福島県福島市柳町4番29号
TEL:(024)523-1191
FAX:(024)523-2605
従業員数 238名(男190名/女48名)
休暇日数 年間101日
年次有給休暇
入社時10日+特別有給休暇



ココがPOINT! 「福島民友新聞株式会社の Happy Work!」

記者だけじゃない! 新聞社は職種のデパート

高校野球大会の会場など、皆さんの近くで腕章をした記者の姿を見掛けたことはありませんか。記者以外にも編集、営業、事業、販売など、新聞社は職種のデパートといわれるほど、皆さんの「やりたいこと」が詰まっています。



SNS発信!若手社員の声の形に

若手社員のアイデアが形になっています。SNS発信がその一つ。ツイッター、YouTubeなど、若い社員の発想と提案で福島民友新聞社に変化が起きています。あなたのアイデアを生かしませんか。



困ったら同期・先輩に相談を

必要な知識や仕事は入社後に先輩社員と現場で学びます。同期の絆が強だけでなく、先輩社員にも相談しやすい和やかな雰囲気。困ったときは一緒に解決しましょう。

